

会 報

こぶし

発行 花 北 地 区
コ ミ ュ ニ テ イ
協 議 会
編集 総務企画部会

花北地区の自然の変化

花北地区「コミュニティ協議会」会長 高橋 修

日頃よりコミュニティ協議会の活動に、ご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

昨年の夏の猛暑を思い出し、今年の夏も同じように暑くなりそうです。



オオキンケイギク

70年前のことはあまり思い出されませんが、坂本町や四日町には自噴の井戸が何か所もあり、バケツに汲んで家の水瓶に貯めて生活していたことがよみがえってきました。周りは田んぼが多く、いつも流れている堰には、ドジョウやカエルがいっぱいいました。今どこにでも水道管が設置され、下水道も地下に埋められています。道路や建物の敷地はアスファルト舗装され、地表を流れる水は川だけになってしまいました。逆に、冬の除雪後の雪解けが早くなったのは、メリットかもしれません。今年も夏は暑くなるようです。最近、オレンジのきれいな花が空き地などに咲いてきました。

「オオキンケイギク」という特定外

来生物なので、販売や譲渡などをする
と三百万円以下の罰金が科せられます。
綺麗な花に騙されず取り扱いには注意
しましょう。

今年度もよろしく願います。

各部会より

◆総務企画部

部会長 菊池善明

今年度の事業等を第1回の部会で確認しました。まず、副部会長を小舟渡の藤沢茂さん、書記を愛宕町の佐々木亜紀子さんをお願いすることになりました。

会報「こぶし」を今年も3号発行することを確認し、地区だよりも順番を確認しました。

総務企画部の大きな事業の1つとして「秋のバス研修旅行」がありますが、昨年度末に予定していた「仙台方面の工場見学」は実現できなくなりました。大きな理由としては、大人数の団体旅行であるということが分かりました。20人位が見学適応人数である工場が多く60～80人の花北コミュニティの旅行には対応できないということでした。

そこで、今年は気仙沼の旅行に急

き変更しました。募集人員もバス1台分の40人にするのを役員会で決定しました。例年より早めに募集案内をしたいと考えています。

◆生活環境部会

部会長 中園教一

花北地域の皆様、日頃より生活環境部会の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は一部地域で運営委員の交代もありましたが、個性豊かで頼もしいメンバーとともに活動をスタートしました。一昨年リニューアルした愛宕公園広場の草刈り・清掃活動の再開、およびグラウンドの草取り・清掃活動を、7月と9月に予定しています。

また、早速の6月10日には早朝から花北振興センターの花植え作業を実施しました。秋にかけて美しい花々が咲き誇り、施設を利用される皆様に温かく迎えてくれると思います。

私たち生活環境部会運営委員一同も、愛宕公園のみならず花北地域全体の環境維持はもちろんのこと、地域の皆様が安全・安心で活気ある毎日を送れるよう、一生懸命取り組んでまいります。先日 of 全体会議では、各地域に共通

する課題である「ごみ集積所への不法投棄」や「分別されていないごみの排出」について、具体的な改善策が見出せない中ではありますが、各地区での対応状況などを中心に活発な意見交換が行われました。大変有意義で活気のある会議となりました。今後も、住民一人ひとりのモラル向上に向けて粘り強く啓発活動や注意喚起を行うとともに、ごみ集積所の管理方法など改善につながる事例を共有しながら、ごみ問題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

本年度も生活環境部会の活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◆教育文化部会

部会長 松田廣邦

今年度の部会の活動についてお知らせいたします。

事業は基本的に次の4項目について進めて参ります。

一、郷土の伝統芸能鑑賞は、

「黒沢尻歌舞伎の花北公演」

二、花北地区文化祭・ステージ発表会

三、花北文化講演会は、

「晩秋のお楽しみ花北寄席」

四、花巻市民憲章大会への参加

郷土伝統芸能鑑賞については、昨年は黒沢尻歌舞伎演目「弁天娘女男白波」をごらんいただき、来場者の皆さんから大いに好評を博したところです。新年度の部会会議で協議した結果、今年度もお願いしようという話になりました。演目を変えて実施することになりました。

今回は、「新皿屋敷・月の雨傘魚屋宗五郎」を二幕三場でお届けします。見所は、「禁酒をしていた宗五郎が、あることを切っ掛けに禁酒を破り酒乱と化していくその変容振り」になるかと思えます。花北地区文化祭等については、地区住民の芸術文化の発展を目指し多方面からの作品展示を期待しているものです。「文化講演会」については、今年で四回目となる花北寄席を開催します。今回は、出演者の顔ぶれを調整し、11月には「晩秋の花北寄席」として男女一人ずつの話芸を楽しんでいただきます。

「花巻市民憲章大会」については、例年内容が地域の功労者の表彰と講演になっており、特に講演は、素晴らしい方のお話があります。一般の方々も是非参加して聴いてみては如何でしょうか。

以上が各項目の概要です。今年度も地域の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆保健体育部会

部会長 牛崎 弘

今年度も昨年度同様、ソフトバレーボール、ニュースポーツ、軟式ソフトボール、グラウンドゴルフの4種目を行います。

初めに、この会報が発刊されているころには終わっているソフトバレーボール大会についてです。打ち合わせ会議では、今の大会規則では参加が難しいとの意見が出され内容を検討し、規則を変更して開催する事にしました。規則変更の内容は、事前に各地区の委員に改訂版を渡しました。大きく変わった事は、「競技者8名の合計年齢が300才以上」の年齢制限がなくなった事です。新たな大会競技規則を各地区体育委員さんが持っていて参加したい方

たと思いますので、詳細を知りたい方は部会員に問い合わせ下さい。

次にニュースポーツ大会ですが当初の計画では7月26日でしたが市議会選挙のため7月5日に変更しました。内容はホールにてユニカールとシャッフ

ルボード、第1会議室と入口左側のホールにてスティックボールを実施します。

3つ目の軟式ソフトボール大会は、10月18日に行います。毎年北中のグラウンド状況が不確定な状況にありましたが、今年からは本館近隣公園を借用して、最悪の場合、北中とその2ヶ所にて開催する事にしました。

最後ですが、11月8日のグラウンドゴルフ大会です。昨年の公園山頂コースを止めて大幅にコース変更をして、参加選手に楽しんでもらえる内容にしたいものと考えています。

◆地域安全部会

部会長 松田富彦

令和8年度の地域安全部会の活動は、昨年同様地域の安心・安全につながる活動を計画しています。

毎月11日9時から、11地区無線設置場所と花北振興センター間で、防災無線交信訓練を実施しています。

9月には、交通安全運動啓発活動として、「早めライト点灯」の呼びかけを花巻神社鳥居前にて実施。また、交通安全標識・カーブミラー・交通危険箇所の点検と確認を行います。

10月には、花北地区文化祭の作品展
示の応援を予定しています。

11月には、花巻市ふれあい出前講座
事業として、救急救命セミナーを実施
予定です。

自然災害に備えることの大切さや、
交通安全に対する意識を高め、少しで
も事故が減るよう活動していきたいと
考えています。

総務企画部会だより

▼太極拳サークルに突撃取材

昨年度から始めた花北振興センター
を利用しての団体・生涯学習サーク
ルへの突撃取材の第2弾です。

今回は、体育館で6月5日(金)に開催
された太極拳のサークルです。「太極
拳は健康体操?それとも酔拳や少林拳
のような格闘技?」そんな疑問を抱い
ていた私は、事前に高橋セイ子先生か
ら許可を得て、体験しながら太極拳の
魅力を探しに参加することにしました。
高橋先生は太極拳にかかわって35年以
上になる方で日本武術太極拳連盟のA
級指導員(技能検定5段)の方です。

当日は15名ほどの参加者がありまし
た。花巻地域の方のみと思っていた私

は、北上市や遠野市などの遠方からも
参加していることにビックリしました。

まず最初に行ったことは30分かけて
の準備運動です。心臓から遠い部位の
関節や筋肉をほぐす運動を行いました。
動きはゆっくりでした。

続いては「太極拳入門編」及び「太
極拳養生五防功」という動きでした。



入門編の動き

中国風のゆったりした曲の中に「イチ、
ニ、サン、シ、ゴ、ロク、シチ、ハチ」
という日本語のリズムが聞こえる音楽
に合わせて行います。初めて体験する
私は、先生の動きをできるだけ真似て
みました。そこで分かった事は一つ一
つの動きには拳法として意味があるとい
う事です。膝や肘の曲げの角度、後
ろ足の重心の位置など、敵の攻撃の受

け止め方そして攻めに転ずる動きなど。
それらの違いを見つけた時は先生は参
加者に指摘します。

私が驚かされた事はまだまだありま
す。太極拳は道具を使わないと思っ
ていましたが、剣や扇を使って「舞う」
という形もあるということです。扇の



剣の演舞

演舞はこの日はやりませんでした。が、
剣の演舞は行っていました。演技の順
番がきちんと定められていてそれを覚
えるのにも苦労の様子が伺えます。ま
た、太極拳の大会があるということ
を教えていただきこれにもビックしまし
た。さらに級位や段位を取得すること
もできるということも知りました。あ
る方は、7月に認定試験があるとい
うことで自宅で練習をするそうです。参
加者の中には、80才台の人もありまし
た。準備運動と合わせ2時間に及ぶ講
習でしたが、ゆっくりした動きの中
にも私には十分過ぎる運動量であつたと

実感した一時でした。

時間に余裕があり、健康な生活を営
みたい方は、太極拳に入門するのも一
つの方法かも知れません。太極拳をは
じめて1年6ヶ月の人がおっしゃって
いました。「おかげで腰痛が治りまし
た」と。

地区だより

コーヒー

星が丘二丁目 白石順子

ここ数十年、星が丘地区は、家々が
立ち並び、それに合わせるように様々
な飲食店も増え、食いしん坊の私には
生活の楽しさが増したように思う。

地区の真ん中を貫く幹線道路には、
魅力的なお菓子の店が並び別名「スイ
ーツロード」とも呼ばれるそうだ。

また、先日、近所にできたコーヒー
チェーン店には驚かされた。それはア



メリカ・シア
トル発祥でロ
ゴの美しい人
魚が印象的な
皆さんがご存
じであろうあ
のコーヒー店

である。私の中ではそこは先端産業のエンジニアや起業家が、PCを持ち込んで仕事やミーティングをするカフェのイメージがとて強くあったので、それが普通の住宅地の我が家の近くにて？とびっくりしてしまったのである。

それで、早速、夕食後に散歩がてら出かけてみた。夜の闇につつまれて、ふわりと浮かぶあたたかなオレンジ色の光。その中に思い思いに過ごす人々。豊かなコーヒーの香り。私もカップ片手に、ゆったり紛れる。なんだか別の街に來たみたい。

そして、その時何故か、近くの田んぼを思った。雉や鴉をお供に進む耕運機。水が張られた途端の夜毎の蛙の合唱。蛙を歩く鴨の親子。鷺の脚が隠れるほどに丈高くなった稲穂。それを揺らす金色の風。そんな大事な食の現場もまたいつまでも私のそばにあってほしいと思うのは、勝手な考えでありましょうか。

自主防災会の 資機材点検操作訓練

小舟渡自治会副会長 平賀 政勝

私が小舟渡防災会副会長になったのは、コロナ禍後の令和4年からです。

小舟渡地区では自治会役員が自主防災会役員を兼務する形で運営しています。昨年の芋の子汁やガス釜を使用した炊飯等の「炊き出し訓練」など、年に1度は工夫した訓練を行ってきました。今年5月16日(土)午後、表題の訓練を行いました。参加者は約30名。最初に、駿河自主防災会会長から訓練内容の説明を受けました。



訓練の様子

最初の訓練は、資材・機材がどこに保管されているのかの確認でした。もう一人の防災副会長の藤沢自治会長が、保管資料を見ながら説明してくれました。

次の訓練は、発電機始動操作及び排水ポンプ始動操作です。ガソリンエンジンで発電できる大小2台を現在持ち合わせています。コロナ前にはよく夏まつりで試験運転していた発電機でしたが、コロナ明け後の訓練では何度始

動紐を引っ張ってもエンジンがかからないということがあり、修理にだした経緯があるしるものです。その時は劣化したガソリンが原因でした。その後は毎年の夏まつりで使用してきたので、当日も順調にエンジンはかかりました。もう一つは排水ポンプ用のエンジン始動が心配されました。2年ぶりに行った訓練です。そのエンジンにはガソリンが全然入っておらず、新たに給油しました。結果は、劣化したガソリンではなかったため、順調に始動しました。このように排水ポンプ始動操作も無事



排水ポンプのエンジン点検

クリアできました。その次の防災無線確認試験では、数名の方が初操作でしたが、实际操作してみると意外と簡単であったという感想が聞かれました。訓練をしたからこそこの課題もみえましたが、リヤカーで機材を運んだのですが、タイヤの空気圧が減っていて空気入れが必要なこと、ポンプを装着する際、

きつくて工具を必要とすること、ガソリン給油ポンプが古くてなかなか思うように注入できなかったことが分かり、早急に購入するなど手立てを講じました。

貴重な土曜日の午後の訓練でしたが、参加者の中には、「実際災害が起こったなら、こんなゆっくりリズムでは、助かる命も助からないのでは?」「救護係の自分が最初に年齢からして救護要請する人になるかも」などという冗談とも本音とも思われる会話が飛び出す訓練となりました。

他地区ではどんな様子でしょうか?いつか、交流したいものです。

◆編集後記

今回もお忙しい中、ご寄稿していただいた皆様に深く感謝申し上げます。例年通りのクマ騒動に加えて、今年も猛暑となっています。世の中、ロシアのウクライナ侵攻など不安な事も多いですが、前後裁断で過ごしていきたいと思えます。皆様、どうぞご自愛ください。※「前後裁断」とは、過ぎ去った事にこだわらず、起こるかどうかも分からない事に不安にならないように、過去も未来も断ち切って、今出来る事を一生懸命にする、という意味です。

(編集長 藤沢 茂)